



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 アシードホールディングス株式会社  
コード番号 9959 URL <http://www.aseed-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 橋本 義徳  
経営企画グループ担当

TEL 084-923-5552

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日 平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	16,286	△7.7	394	△24.2	370	△27.7	130	△60.9
26年3月期第2四半期	17,653	△1.3	520	△0.9	512	1.0	333	△4.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 167百万円 (△51.1%) 26年3月期第2四半期 342百万円 (20.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	20.45	—
26年3月期第2四半期	51.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	15,644	4,395	28.1	691.04
26年3月期	15,342	4,332	28.2	676.67

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 4,395百万円 26年3月期 4,332百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
27年3月期	—	8.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△5.8	460	2.2	450	3.8	120	△50.6	18.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	6,747,624 株	26年3月期	6,747,624 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	386,788 株	26年3月期	345,588 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	6,379,617 株	26年3月期2Q	6,481,130 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府と日銀による経済・金融政策の効果により緩やかな回復基調がみられるものの、個人消費につきましては消費増税の影響に加え、ガソリン価格や電力料金の高騰、さらには夏季の異常気象による天候不順等の影響により、消費者マインドは依然として厳しい状況にあります。

自販機オペレーター（運営リテイル）業界におきましては、自販機のロケーションや設置台数の飽和状態が続くなか、過剰な設置・取引条件競争に加え、業種業態を超えた価格競争の激化に伴う収益性の低下などにより、業界再編が一段と加速しております。

飲料製造事業におきましては、生産過程での原材料や燃料・電力料金の高騰に加え、夏季の天候不順により、経営環境は一段と厳しい状況にあります。

このような状況のなか、当社グループでは引き続き積極的かつ政策的に自販機のリプレイスを進めて効率化を図るとともに、フルライン自販機の推進により過剰に設置された自販機の集約化を図りました。また、事業のグローバル化を目的として、ベトナムのハロンビール&ビバレッジ社の株式を取得いたしました。今後は、当社グループが国内で培った酒類及び飲料製造のノウハウとハロンビール&ビバレッジ社が保有する販売チャネルやネットワークを相互利用し、ベトナム国内はもとより、東南アジアをターゲットとしてビール・酒類及び清涼飲料市場を開拓してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高16,286百万円（前年同四半期比7.7%減）、営業利益394百万円（同24.2%減）、経常利益370百万円（同27.7%減）、四半期純利益130百万円（同60.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

## ① 自販機運営リテイル事業

消費税率の引上げに伴う自販機での価格改定に加え、同業他社やコンビニエンスストア等の異業種との競合により、経営環境はますます厳しさを増しております。加えて、夏季の記録的な異常気象による天候不順もあり、自販機での販売は当初計画を下回りました。このような状況のなか、当社グループでは引き続き消費者ニーズに即した付加価値の高い商品を1台に集約して提供する「フルライン自販機」の推進と自社ブランド商品の育成に取り組みました。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は10,186百万円（前年同四半期比5.4%減）、セグメント利益は354百万円（同1.2%増）となりました。

## ② 飲料製造事業

飲料製造業界は急激な円安による原材料価格や燃料・電力料金の高騰に加え、消費税率の引上げによる駆け込み需要の反動、さらには最盛期である夏季の天候不順（冷夏・長雨）による生産調整等により厳しい経営環境となりました。このような状況のなか、低アルコール飲料やエナジー飲料等の高付加価値製品の製造を強化するとともに、仕入調達の見直しや物流経費の削減等により利益率の向上を図りました。

この結果、飲料製造事業の売上高は5,901百万円（前年同四半期比11.4%減）、セグメント利益は164百万円（同40.9%減）となりました。

## ③ 飲料サービスシステム事業

遊技人口は長期的な減少傾向にあり、遊技場の大型化とチェーン化が進行中であります。このような状況のなか、遊技場等のお客様に対してカップ飲料自販機のサービス価値を向上させる「アオンズ・カードシステム」の導入強化に取り組みました。

この結果、飲料サービスシステム事業の売上高は155百万円（前年同四半期比18.8%減）、セグメント利益は17百万円（同28.1%減）となりました。

## ④ 不動産運用事業

不動産運用事業につきましては、本年9月より広島県に保有する不動産を家電大型専門店で賃貸しており、売上高は43百万円（前年同四半期比36.1%増）、セグメント利益は68百万円（同17.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、6,304百万円となり、前連結会計年度末に比べ278百万円増加いたしました。これは現金及び預金の増加237百万円、受取手形及び売掛金の減少130百万円、商品及び製品の増加227百万円及び前払費用の減少67百万円等によるものです。また、固定資産は9,340百万円となり、前連結会計年度末に比べ、23百万円増加いたしました。これは建物及び構築物(純額)の減少56百万円、機械装置及び運搬具(純額)の減少42百万円、土地の減少61百万円、リース資産(純額)の減少50百万円、のれんの減少41百万円、投資有価証券の増加144百万円、長期前払費用の増加194百万円及び繰延税金資産の減少68百万円等によるものです。

この結果、総資産は15,644百万円となり、前連結会計年度末に比べ302百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は8,485百万円となり、前連結会計年度末に比べ727百万円増加いたしました。これは買掛金の増加306百万円、短期借入金の増加180百万円及び未払消費税等の増加113百万円等によるものです。また、固定負債は2,763百万円となり、前連結会計年度末に比べ488百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少454百万円及びリース債務の減少63百万円等によるものです。

この結果、負債合計は11,249百万円となり、前連結会計年度末に比べ239百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,395百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円増加いたしました。これは四半期純利益による増加130百万円、自己株式の取得による減少52百万円、剰余金の配当による減少51百万円及びその他有価証券評価差額金の増加37百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は28.1% (前連結会計年度末は28.2%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年10月27日「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,105,080	1,342,293
受取手形及び売掛金	1,967,477	1,836,635
商品及び製品	1,230,648	1,458,518
仕掛品	150	—
原材料及び貯蔵品	227,446	210,192
前払費用	799,281	731,877
繰延税金資産	103,274	94,002
その他	594,669	634,277
貸倒引当金	△2,572	△3,465
流動資産合計	6,025,455	6,304,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,145,627	1,089,451
機械装置及び運搬具(純額)	450,053	407,421
工具、器具及び備品(純額)	26,025	24,834
土地	3,775,013	3,713,249
リース資産(純額)	1,169,408	1,118,605
建設仮勘定	17,792	34,077
有形固定資産合計	6,583,920	6,387,640
無形固定資産		
のれん	427,579	385,745
リース資産	30,854	24,711
その他	37,725	36,213
無形固定資産合計	496,159	446,671
投資その他の資産		
投資有価証券	648,869	793,686
長期貸付金	29,846	28,755
長期前払費用	853,570	1,048,514
繰延税金資産	201,008	132,030
その他	543,553	544,775
貸倒引当金	△40,288	△41,764
投資その他の資産合計	2,236,559	2,505,996
固定資産合計	9,316,640	9,340,308
資産合計	15,342,095	15,644,640

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,625,581	2,932,522
短期借入金	2,180,000	2,360,000
1年内返済予定の長期借入金	858,720	860,320
リース債務	372,290	383,372
未払金	881,870	849,723
未払法人税等	114,423	99,631
未払消費税等	44,695	158,526
繰延税金負債	50	150
賞与引当金	133,170	131,207
その他	547,463	710,372
流動負債合計	7,758,266	8,485,827
固定負債		
長期借入金	1,857,634	1,403,274
リース債務	933,169	869,273
再評価に係る繰延税金負債	40,019	40,019
役員退職慰労引当金	132,542	132,242
退職給付に係る負債	135,475	137,822
資産除去債務	2,800	2,800
その他	150,108	177,816
固定負債合計	3,251,749	2,763,248
負債合計	11,010,015	11,249,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,472	798,472
資本剰余金	1,012,778	1,012,778
利益剰余金	3,350,297	3,429,552
自己株式	△302,210	△354,670
株主資本合計	4,859,337	4,886,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,263	55,832
土地再評価差額金	△547,392	△547,392
為替換算調整勘定	2,474	1,292
退職給付に係る調整累計額	△602	△301
その他の包括利益累計額合計	△527,257	△490,568
純資産合計	4,332,080	4,395,564
負債純資産合計	15,342,095	15,644,640

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	17,653,476	16,286,866
売上原価	11,589,812	10,553,175
売上総利益	6,063,664	5,733,691
販売費及び一般管理費	5,542,766	5,338,930
営業利益	520,897	394,760
営業外収益		
受取利息	3,240	3,541
受取配当金	4,397	4,725
不動産賃貸料	3,126	4,152
受取賃貸料	8,798	6,232
受取保険金	1,313	2,916
違約金収入	—	2,081
受取補償金	1,177	—
その他	20,904	17,610
営業外収益合計	42,958	41,261
営業外費用		
支払利息	39,240	39,029
その他	11,901	26,515
営業外費用合計	51,141	65,545
経常利益	512,714	370,476
特別利益		
固定資産売却益	—	1,354
投資有価証券売却益	7,015	—
特別利益合計	7,015	1,354
特別損失		
固定資産除却損	1,004	18,873
減損損失	7,306	61,764
投資有価証券売却損	250	—
投資有価証券評価損	683	—
特別損失合計	9,244	80,637
税金等調整前四半期純利益	510,485	291,192
法人税、住民税及び事業税	173,258	94,474
法人税等調整額	3,723	66,247
法人税等合計	176,981	160,721
少数株主損益調整前四半期純利益	333,503	130,471
四半期純利益	333,503	130,471



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	333,503	130,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,054	37,569
為替換算調整勘定	1,447	△1,181
退職給付に係る調整額	—	301
その他の包括利益合計	8,502	36,688
四半期包括利益	342,005	167,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	342,005	167,160

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,770,514	6,659,522	191,291	32,147	17,653,476	—	17,653,476
セグメント間の内部 売上高又は振替高	43,998	411,445	746	80,108	536,298	△536,298	—
計	10,814,512	7,070,967	192,038	112,256	18,189,775	△536,298	17,653,476
セグメント利益	349,991	278,890	24,430	58,050	711,363	△190,465	520,897

- (注) 1. セグメント利益の調整額△190,465千円には、セグメント間取引消去2,058千円、のれんの償却額△5,014千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△187,509千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,186,122	5,901,747	155,241	43,754	16,286,866	—	16,286,866
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34,251	357,428	707	75,702	468,090	△468,090	—
計	10,220,373	6,259,176	155,949	119,457	16,754,957	△468,090	16,286,866
セグメント利益	354,347	164,911	17,569	68,115	604,944	△210,183	394,760

- (注) 1. セグメント利益の調整額△210,183千円には、セグメント間取引消去4,352千円、のれんの償却額△5,014千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△209,521千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。